

# 東京のまちづくり活動トピックス



長引く新型コロナウイルス感染症によって、私たちの暮らしは様々な影響を受けています。今回は、生協が取り組む「生活困窮者支援」の紹介と、WEBで参加できる企画の紹介です。

## パルシステム東京

## お米の産地にも喜んでもらえる「生活困窮者支援活動」に取り組みました！

お米の産地では、コロナ禍で飲食店などのお米の需要が激減し、全国的に「米余り」が発生していました。一方で、生活困窮者への支援として、主食となり長期保存が効くお米は要望が高まっていました。



足立区へ贈呈

このような状況もあり、パルシステム東京が、パルシステムの産直産地であるJA新いわてのお米55トンを買取り、8月～10月に、生活に困っている方やひとり親家庭などの支援に取り組むフードバンクや子ども食堂、社会福祉協議会などへの緊急支援として配付することとしました。

6月から呼びかけを開始、パルシステム東京がこれまで関係のあった団体をはじめ、東京ボランティア・市民活動センターへ情報発信の協力を依頼したほか、東京都生協連を通じて都内大学生協、医療生協の他、フードバンク団体へも声を掛けました。

結果、8月は53団体に約25トン、9月は70団体に約23トン、10月は31団体に約7トンをお渡しすることができました。



お米は、それぞれの団体や社会福祉協議会の担当の方が最寄りの配送センターに取りに来るようにして、各配送センターの活動長が窓口となって対応しました。8月分は1袋5kg、9月分からは1袋3kgでお渡ししています。

お米を受け取った団体からは「夏休み期間中は子どもの在宅率が高く、ありがたかった」「今回のお米の配布がきっかけで、日ごろから支援が必要ではないかと気になっていた世帯とつながることができ、新たな相談支援につながった」と感謝の声が多数ありました。また、お米の受け渡しを担った江東センターの鈴木活動長は「皆様の笑顔が嬉しいです」と地域への貢献を実感されたとのことでした。



パルシステム東京ではこれまでも、地域の課題解決に向けた取り組みとして、フードバンクや子ども食堂等への予備青果\*1や調味料等の提供をはじめ、若者の未来を支える奨学金制度などに取り組んできています。

\*1…セットする青果の痛みを見込んで多めに発注したものと



「練馬あったかフードバンク大泉実行委員会」への贈呈

## 東京都生協連

## 生協とフードバンクのネットワークづくりに向けてはじめての一步！「プレ交流会」を開催しました



オンラインでプレ交流会

東京都生協連では「生活困窮者への支援」に、会員生協や協同組合・友誼団体とともに取り組むことを今年度の重点課題に掲げ、コロナ禍のもと増加する生活に困窮する方々への支援をすすめる活動に着手しています。現在、都内全域のフードバンク団体と生協や協同組合、関係団体に参加を呼びかけた交流会の開催を目指していますが、それに先立って8月3日(火)に、5つの地域生協担当者とこの間つながりのできたフードバンク団体のうち8団体の参加で、オンラインでのプレ交流会を開催しました。各団体からは、様々な悩みや課題が報告され、また、多くの参加団体からは生協に対する期待の声も寄せられました。参加者同士が顔見知りになったことで、横のつながりが一歩進み、お互いに理解を深めることができたことと併せ、生協としてフードバンク団体の要望を知り、今後どのような支援が可能なのかを考えていくきっかけにもなりました。

## 健康づくり&まちづくり 「WEB交流フェスタ2021」東京都生協連ウェブースにて発信中

### 東京都生協連



●特設サイト公開期間●2021年10月22日(金)～2022年1月31日(月)

「くらしフェスタ東京2021」は消費者団体と東京都が協働して実施する東京都消費者月間の愛称で、「誰もがくらしやすい未来へ」をテーマに、ホームページ上で様々な事業を展開します。

「WEB交流フェスタ2021」の東京都生協連ウェブースでは、まちづくり活動と健康づくりの紹介をしています。楽しいクイズやぬりえにもチャレンジできます。ぜひ、[くらしフェスタ東京2021](http://kurashifesta-tokyo.org) (<http://kurashifesta-tokyo.org>)をクリックして遊びに来てください。



くらしフェスタ東京2021 Facebook  
Twitterアカウント [@kurashifes\\_ty](https://twitter.com/kurashifes_ty)